



その他の情報

- [Expressway VM のアップグレードまたはダウングレード \(1 ページ\)](#)
- [レジリエンスおよびキャパシティのクラスタリング \(2 ページ\)](#)
- [物理アプライアンスから VM への移行 \(2 ページ\)](#)
- [ホストの移行 \(VMware VMotion を使用\) \(2 ページ\)](#)
- [ファイバーインターコネクトを備えた SAN を推奨 \(2 ページ\)](#)
- [サポートされない機能 \(2 ページ\)](#)
- [ライセンス \(3 ページ\)](#)
- [セキュリティの強化 \(3 ページ\)](#)

Expressway VM のアップグレードまたはダウングレード

始める前に

バックアップからプロファイル情報が削除される

X12.6 から、Expressway バックアップファイルにはシステムプロファイル情報 (ProfileID 値) は含まれません。これは、異なる規模の展開でバックアップを復元した場合に、予期しないサイズへの変更に関する既知の問題を回避するためです。したがって、デバイスプロファイルは Backup and Restore 操作の影響を受けません。バグ ID [CSCvs59766](#) を参照してください。

-
- ステップ 1** 小さい (またはダウングレードの場合は大きい) VM 構成のバックアップを作成します。VMware スナップショットではなく、Expressway のバックアップ機能を使用します。
 - ステップ 2** このガイドの説明に従って、新しいより大きな (またはダウングレードの場合はより小さな) VM をインストールして展開します。
 - ステップ 3** (古く) 小さい (またはダウングレードの場合は大きい) VM の構成を、新しく展開された VM に復元します。プロファイル情報はバックアップ/リストアに含まれませんのでご注意ください。
-

レジリエンスおよびキャパシティのクラスタリング

Expressway VM をクラスタ化する場合は、少なくとも2つの物理ハードウェアホストを使用することを強くお勧めします。ハードウェアの復元性には、少なくとも2つの異なるハードウェアプライベートトラベルで実行する Expressway ピアが必要です。

現在の最大サポートラウンドトリップ遅延 (RTT) とピア間のホップディスタンスについては、「[Cisco Expressway シリーズ構成ガイド](#)」ページの該当するバージョンの「*Cisco Expressway* クラスタ作成およびメンテナンス設置ガイド」を参照してください。

物理アプライアンスから VM への移行

物理アプライアンスから VM に移行する場合は、Backup and Restore プロセス ([メンテナンス (Maintenance)] > [Backup and Restore]) を使用して、2つのインストール間で構成を転送できます。警告メッセージが表示されますが、続行できます。

ホストの移行 (VMware VMotion を使用)

Expressway を新しいホストに移動する必要がある場合は、VMware VMotion を使用してホストの移行を実行する必要があります。

開始前に、VM が移動すると、Expressway が連動するコールのメディアに問題 (パケット損失/ジッター) がある場合があります。VMotion の移動は、VM Expressway 上でのコールアクティビティが最小ときに実行することをお勧めします。これを確実にするために、移動を実行する前に、Expressway VM をメンテナンスモード ([メンテナンス (Maintenance)] > [メンテナンスモード (Maintenance mode)]) にして、アクティブコールがクリアされるのを待ちます。

ファイバーインターコネクトを備えた SAN を推奨

転送速度を最大限にするには、SAN は NAS よりもファイバーインターコネクトと併せて使用することをお勧めします。

サポートされない機能

VMware の耐障害性モード

VMware 耐障害性モードはサポートされません (Expressway では複数のコアが使用されるため)。

VMware HA

VMware High Availability はサポートされていません。回復力のためにクラスタリングをお勧めします。仮想 Expressway を移動する必要がある場合は、VMotion を使用できます。

VMware Snapshots

VMware スナップショットはサポートしていません。代わりに、Expressway を定期的にバックアップすることをお勧めします。

ライセンス

仮想 Expressway には、Expressway アプライアンスにライセンスが必要なと同じ方法でライセンスを付与する必要があります。

Expressway のシリアル番号が変更され、既存のライセンスキーとオプションキーが無効になるため、VM をコピーしないでください。Expressway を新しいホストに移動する必要がある場合は、VMware VMotion を使用してホストの移行を実行します。

セキュリティの強化

安全な方法で VMware 製品を展開し、運用する方法については、『[VMware セキュリティ強化ガイド](#)』を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。